

名事研=ユース

名古屋市立小中養護学校事務研究協議会
<http://meijiken.sakura.ne.jp/>

No. 134

平成19年 7月 6日

発行 名古屋市立小中養護学校
事務研究協議会 情報部
発行責任者 白根 勲

4月27日、名古屋市教育センターにおいて平成19年度 定期総会が開かれ、平成18年度の事業報告等の審議のあと、山本新会長が承認されました。平成19年度事業計画、予算案等についても承認され、新体制の下、本年度の名事研活動がスタートしました。

職能の育成と伝承

会長 山本和彦
(東星中学校)



名古屋市において、今後、5年間に100名余りの学校事務職員が定年退職されるといわれています。また、来年度には、30名を超える学校事務職員が新規採用される予定です。今までのように新規採用者を複数校に配置することが困難なため、単数校配置となることが予想されます。

新規採用者が単数校配置にされた場合、学校事務が円滑に機能し、各学校の教育目標の達成のために、学校運営や教育活動の改善に取り組むにはどうすべきでしょうか。

中央教育審議会の答申「今後の教員給与の在り方について」(平成19年3月29日)の中で、『教員の校務と学校の組織運営体制の見直し』の章に、(教員の事務負担を軽減することができるよう、事務の共同実施の促進、事務職員の質の向上のための研修の充実などとともに、事務処理体制の充実を図っていくことが必要である。一層効率的学校運営組織を図り、校務分掌や役割分担の在り方を整理していくことが必要である。)と述べられています。

また、今年1月に行われました第12回名古屋市立小中養護学校事務職員研究大会において、京都産業大学の西川信廣教授の講演が行われ、「学校事務職員が学校の教育向上にどう関わるのか?」の中で次のことが述べられました。

抜 粋

- 1.組織マネジメントのサイクルづくり
短期中期長期の目標の設定。スクールカレンダーの作成。PDCAサイクルの充実。
- 2.制度改革から学校事務職員の意識改革
属人性の強い職場から協働性の職場へ。
共同実施等により、事務職員の職務成長を組織的に行う。
主査・事務長をメンター(助言者)としての位置づけ。
- 3.学校経営システムへの事務職員の参画
組織マネジメントの観点から校務分掌の見直し。
- 4.小中一貫(連携)教育の核となる事務職員
学校事務職員が小中連携することで、教員に広がる教育改革を。

単数配置が多い学校事務職員の場合、その知識やノウハウを次の世代にどのようにつなげていくのか、新規採用者の育成をどう図っていくかという課題があります。

今後、新規採用者の育成や先輩方の喪失をフォローするためには、学校事務の組織化・平準化や効率化等を図りながら、さらに中学校ブロック・区単位での支援やOJT研修の充実等をどういう形で行っていくかを実践・実証することが重要と思われます。

平成19年度 名事研活動について

副会長 日置 雄二
(富士中学校)

平成19年度の名古屋市学校教育の努力目標において、「学校は、『夢に向かって人生をきり拓く子どもの育成』を期し、幼児・児童・生徒の心身ともに調和のとれた人間形成を図る役割を担っている」とされています。そして、各学校では、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動を展開するとともに、主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む、「創造していく学校づくり」に努めなければならないと示されています。

今年度は、昨年度の学校事務等に関する状況調査や事業評価で出された課題を整理し、改善策を検討していくことが重要と考えます。より充実した活動を行うためにも、課題をどのような形で解決していくかを検討していきたいと思います。

年間テーマを今年度も「学校事務未来！一步前へ」としました。3年目となりますが、継続性とさらなる発展性を持った「一步前へ」となるように世話係や会員の協力を得ながら、各区事務研究会の研究・研修活動との連携を図っていきます。

今年度の研究大会は引き続き「学校事務未来！一步前へ」をテーマとして平成20年2月に開催します。開催にあたっての内容や研究発表については、世話係会で協議し、会員の協力を得ながら、充実した大会を計画していきます。

事務局は昨年度の事業評価をもとに改善策を検討し組織運営全般の企画・立案機関としての機能を高められるように努めます。また、今年度も本会の事業評価を行い、改善点を把握し、次年度以降の活動をより充実したものになるように努めます。研究・研修・総務・情報の各専門部は年間テーマ「学校事務未来！一步前へ」を活動の柱として、各部間の連携をさらに深め、会員のニーズにあった事業が展開できるような活動を進めます。

その他の事業として、平成20年度版学校事務ハンドブックの編集を緑区事務研究会が担当します。政令指定都市間の情報交換や区情報ネットワークの活用、関係団体・組織との連絡調整などを行います。

7月には第39回全国公立小中学校事務研究大会（愛知大会）が名古屋で開催されます。実行委員会を中心に準備を進めていただいておりますが、開催地、名事研としても積極的に参加し、成功裏に終わることができるよう協力していきたいと思っております。

各局・部長から ひとこと

研究部

研究部長 長松軒由美

「研究部のやっていることはよくわからない」と言われます。「研究部は大変だから」となかなか部員が集まりません。その通りだと思います。

でも、研究部が考えていることは、決して特別なことではなく、「子どもたちのため、学校づくりのために、私たちは何をすべきなのか」ということです。

これから先、学校事務や学校事務職員が成長していくためには何が必要で、今足りないものは何なのか。現状を把握したうえで、次に踏み出す一歩を考えていきたいと思っています。

総務部

総務部長 内藤洋子

今年度総務部は、採用2年目のフレッシュ事務職員からベテラン事務職員まで幅広い年齢層の部員でスタートしました。活動内容としまして、企画運営事業として、市研究大会・定期総会の準備運営をし、会が円滑に進行でき実りあるものになるよう努力していきます。また資料作成事業として要覧・事務職員名簿の作成発行と重要通知文集の更新をして、皆さんの手助けになるような資料の発行をしていきたいと思っています。その他、連絡調整業務として各種研究大会の案内や会報等の配付を迅速に行います。昨年度よりステップアップを心がけ、部員全員でよりよい方法や内容を考えていきたいと思っています。ご意見ご要望等ありましたらお聞かせください。1年間よろしくお願ひします。

事務局

事務局長 加藤豊子

自然も、世界も、宇宙も一瞬として止まっていることはありません。もちろん、人間も同じです。今ある常識が、これからの常識とは限らないのです。今までの流れを大切にす気持ちとともに、これからの時代は、「変化に耐えうる力」と「こうありたいと願う心」を持ち続けることが大事なのではないでしょうか。

事務局では、名事研事業を通して、学校や学校教育の活性化がもたらされ、子どもたちの教育に活かされるような取組を行っていききたいと思っています。会員みなさん！一緒に充実感をもった歩みを進めていきましょう。

研修部

研修部長 山内健嗣

研修部では、経験年数1～3年目の会員を対象とする基礎研修会を3回、全会員を対象とする全体研修会を2回、合計5回の研修会を開催します。これら研修会の企画・運営を通して、会員の皆さんの役に立つ知識や情報を提供できるよう研修部員一同頑張っていきます。是非、皆さんの積極的な参加と研修会に関するご意見やご要望をお聞かせください。

情報部

情報部長 白根 勲

放課に子どもたちが一輪車や鉄棒の逆上がりは何度も何度も挑戦している姿を見ていると、失敗を恐れることなく、チャレンジする気持ちを見習わなくてはいけないなと強く思います。

名事研の年間テーマ「学校事務未来！一步前へ」も3年目。情報部は「とりあえずやってみよう」をモットーに活動しています。頭であれこれ考えているだけではなく、実際に行動に移していく。なかなか難しいことではあります。でも、“0”のままではなく、“0”を“1”にする努力。その一歩がきっかけになって“10”にも“100”にもなっていくのではないかと思います。

講演 「教育活動充実に向けた学校事務職員の役割」

講師 名古屋市教育委員会 教職員課長 廣瀬帆曜氏



総会に先立ち、「教育活動充実に向けた学校事務職員の役割」と題して、教職員課長の廣瀬氏より講演をいただきました。

学校事務職員制度に関する法律や学校事務職員の職務についてのお話から始まり、名古屋市学校教育の努力目標、なごやっ子教育推進計画について、わかりやすく丁寧に説明していただきました。

最後に学校事務職員の新たな役割として、次の3点を挙げ、締めくくられました。

- ・ 校長を支え、唯一の行政スタッフとして企画や予算など学校経営に積極的に参画していく。
- ・ 教育課程に関心を持ち、教師の授業の質的改善に対して予算面から助言を行う。
- ・ 児童生徒だけでなく保護者、地域の方と触れ合う機会をもち、学校職員の一員として教育活動推進に関わっていく。

平成19年度 役員等名簿

会 長	山本 和彦 (東星中)
副 会 長	宇佐美吉勝 (御劔小)
副 会 長	松岡 美晴 (本城中)
副 会 長	日置 雄二 (富士中)
顧 問	林 敦子 (御園小)
会 計	服部裕実子 (中根小)
監 査	大澤 克文 (八王子中)
監 査	森川千栄子 (那古野小)
世 話 係 長	佐藤 建一 (滝川小)
副 世 話 係 長	加島 道代 (宮 中)
県 事 研 副 会 長	加藤 修市 (城西小)
県 事 研 事 務 改 善 検 討 委 員 会 委 員 長	山岸 和彦 (鳴子台中)
全 事 研 理 事	松岡 美晴 (本城中)
全 事 研 監 査	桑山 賢治 (萩山中)

H19全国大会実行委員会

副 委 員 長	林 敦子 (御園小)
事 務 局 次 長	成田 久恵 (新郊中)
事 務 局 員	日比野紀子 (牧の池中)
運 営 部 長	林 昭宏 (矢田中)
運 営 部 員	大澤 克文 (八王子中)
運 営 部 員	川端 真実 (上名古屋小)
運 営 部 員	長松軒由美 (黄金中)
運 営 部 員	服部裕実子 (中根小)
運 営 部 員	森川美穂子 (旗屋小)
運 営 部 員	内藤 洋子 (助光中)
運 営 部 員	田口 行博 (港南中)
運 営 部 員	平岩 宗明 (大高小)

表簿用紙規格研究委員会委員	二村 忠浩 (千石小)
表簿用紙規格研究委員会委員	加島 道代 (宮 中)

事 務 局 長	加藤 豊子 (白鳥小)	
事 務 局 次 長	永井 智子 (大磯小)	
	岩田 さゆみ (前津中)	宇野 稔 (鎌倉台中)
	二村 忠浩 (千石小)	江上 愛子 (大坪小)
	則武 真雄 (日比津小)	小池 ひとみ (平子小)

研 究 部	◎ 長松軒由美 (黄金中)	近藤万友美 (東白壁小)	榊原 功剛 (日比野中)
	○ 毛利 和正 (豊田小)	桑山 賢治 (萩山中)	宮地 里美 (本郷小)

研 修 部	◎ 山内 健嗣 (千種中)	中村 昌也 (橘 小)	横井 智史 (井戸田小)
	○ 坪井 宏之 (楠西小)	佐久間万由 (常磐小)	土井 裕子 (桜山中)
	○ 遠藤 剛 (神丘中)	山田 雅代 (八幡小)	
	横田 昌史 (富士見台小)	成瀬 沙智 (豊治小)	

総 務 部	◎ 内藤 洋子 (助光中)	串田 出 (円上中)	慶久 正喜 (千鳥丘中)
	○ 関水 紀子 (成章小)	森川美穂子 (旗屋小)	平岩 宗明 (大高小)
	○ 近藤 高弘 (中村小)	井口 貴夫 (筒井小)	田中 弘恭 (神の倉小)
	川端 真実 (上名古屋小)	佐藤真澄美 (八熊小)	
	佐藤 治男 (米野小)	伊藤亜里沙 (一柳中)	

情 報 部	◎ 白根 勲 (高田小)	大河内威雄 (新栄小)	土田 陽一 (廿軒家小)
	○ 早川 数幸 (平田小)	安達孝一郎 (田光中)	大野真由子 (上社小)
	濱田 光晴 (桜丘中)	加藤 里香 (明德小)	
	鈴木 俊太 (比良西小)	今村 京子 (高木小)	

[◎は部長 ○は副部長]